

科目名 成人看護学概論 時間割表記名 成人看護学概論		配当時期 1年次 後期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 濱崎 友実 (実務経験のある教員)
事前学習内容 成人期の特徴と発達課題について予習して臨む			
授業目標 1. 成人期にある対象とその特徴について理解できる。 2. 成人の生活が健康に及ぼす影響について理解できる。 3. 成人看護に必要な基礎的理論を理解できる。 4. 成人各期にある対象の特徴と保健の動向を通して、成人看護の役割が理解できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ.			
回	学習内容	方法	備考
1	1.成人であるということ(人のライフサイクルから考える) 2.発達課題に関する理論;エリクソン、ハビガースト	講義	テキスト①③
2 3	3.ライフサイクルにおける成人期の特徴、発達課題 (青年期、壮年期、中年期、向老期) 4.成人期における生活	グループワーク 発表会	テキスト①③
4	4.成人の生活からとらえる健康 1)成人を取り巻く環境と生活の状況	講義	テキスト①③
5 6 7	2)成人の健康の状況 ①生と死の動向、②健康格差、③職業性疾病・業務上疾病 ④受療状況、⑤生活習慣病、⑥メンタルヘルスと自殺者数	グループワーク 発表会	テキスト①③ ④
8 9	5.成人の生活と健康をまもり育むシステム 1)保健・医療・福祉にかかわる施策の概要 2)保健にかかわる対策 3)医療にかかわる対策 4)福祉にかかわる対策	講義 グループワーク 発表会	テキスト①④
10 11 12	6.成人への看護アプローチ 1)生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 (大人の学習、保健信念モデル、変容ステージモデル、 エンパワメント、自己効力感) 2)健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3)人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 4)看護におけるマネジメント 5)看護実践における倫理的判断 6)チームアプローチ 7)意志決定支援	講義	テキスト①② ⑤

	8)家族支援 7.ヘルスプロモーションと看護 1)ヘルスプロモーションと看護 2)ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動		
13 14	8.健康をおびやかす要因と看護 1)健康バランスの構成要素 2)健康バランスに影響を及ぼす要因 3)生活行動がもたらす健康問題とその予防 9.健康状態に対応した看護 1)健康状態とは 2)急性期の特徴と看護とは 1)コーピング理論 2)危機理論 3)回復期の特徴と看護とは 1)障害受容 4)慢性期の特徴と看護とは 1)病みの軌跡 5)終末期の特徴と看護とは 1)死の受容過程 2)ケアリング	講義	テキスト①② ⑤
15	筆記試験 成人期にある人への看護の役割まとめ	筆記試験 45分 講義 45分	
受講上の注意 授業内容により、課題を課す			評価方法 筆記試験 レポート
<p>使用するテキスト</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔1〕成人看護学総論 医学書院</p> <p>② 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔4〕臨床看護総論 医学書院</p> <p>③ 舟島なをみ、望月美知代著 看護のための人間発達学 第5版 医学書院</p> <p>④ 国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p> <p>⑤ 黒田裕子 臨床活用事例でわかる中範囲理論 日総研 佐藤栄子 中範囲理論入門 一事例を通してやさしく学ぶー 日総研</p> <p>参考文献</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔1〕看護学概論 医学書院</p> <p>② 松本千明著 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 医歯薬出版株式会社</p> <p>③ 服部祥子 生涯人間発達論 一人間への深い理解と愛情を育むためにー 医学書院</p>			